ＳＡ－WA 設置管理基準書

器具器械９　Ｘ線管支持床支持台(37076000)

一般医療機器（特定保守管理機器・設置管理医療機器）

三共医療機株式会社
大阪府大阪市平野区加美東６－１４－２２
許可番号　２７Ｂ３Ｘ０００６９

目次

１．添付文書　（添付文書参照）
２．据付、サービスマニュアル
　２－１．設置準備
　２－２．構成
　２－３．仕様
　２－４．使用条件
　２－５．据付フロー図
　２－６．据付手順
　２－７．調整、試験
　２－８．据付チェックシート
　２－９．保守点検　　（取扱説明書参照）
　２－１０．日常点検表　（取扱説明書参照）
３．外形図
　別紙

２．１　設置準備

建物の状態

床面構造

ａ．鉄筋コンクリート　厚み１２０mm以上

ｂ．木造　材質は木目の少ない材質（ラワン材・アガチス材）を使用
　板圧　２５mm以上　幅２００mm以上

ｃ．鉄板　厚み６ｔ　幅１００mm以上
　使用ネジ　Ｍ６丸ネジ長さ３０mm以上

壁構造（走行式壁面レールの場合）

ａ．鉄筋コンクリート　厚み１２０mm以上

ｂ．木造　材質は木目の少ない材質（ラワン材・アガチス材）を使用
　板圧　２０mm以上　幅１５０mm以上

ｃ．鉄アングル　６５mmＬ型アングル　厚み　６ｔ以上
　使用ネジ　鉄アングルにＭ６のネジきりを行い、Ｍ６丸ネジ

d. 壁レールネジ中心高さ　床上１９００～２０００mm

２－２．構成

品名

１．本体支柱部	1 式
２．床ベース	1 式
３．上下スライダ	１式
４．操作 BOX	１式
５．前後アーム部　（オプション）	1 式
６．床又は壁レール（オプション）	1 式

２－３．仕様

１．本体支柱	巾 550×奥行 510×高さ 1900（mm）
	車載の場合高さ　1630　移動式高さ 2000
２．X 線管球の上下移動	床面から回転軸まで 320～1630（mm）
	移動式の場合は 50mmUP
	ストローク 1310mm
	車載の場合床上 390～1430（mm）
	ストローク 1040mm
５．X 線管球の回転角度（オプション）	±１３０°
７．吊り下げ重量	24～50ｋｇ（X 線管球、可動絞り、フォーク、ケーブル関係の総重量）

２－４．使用条件

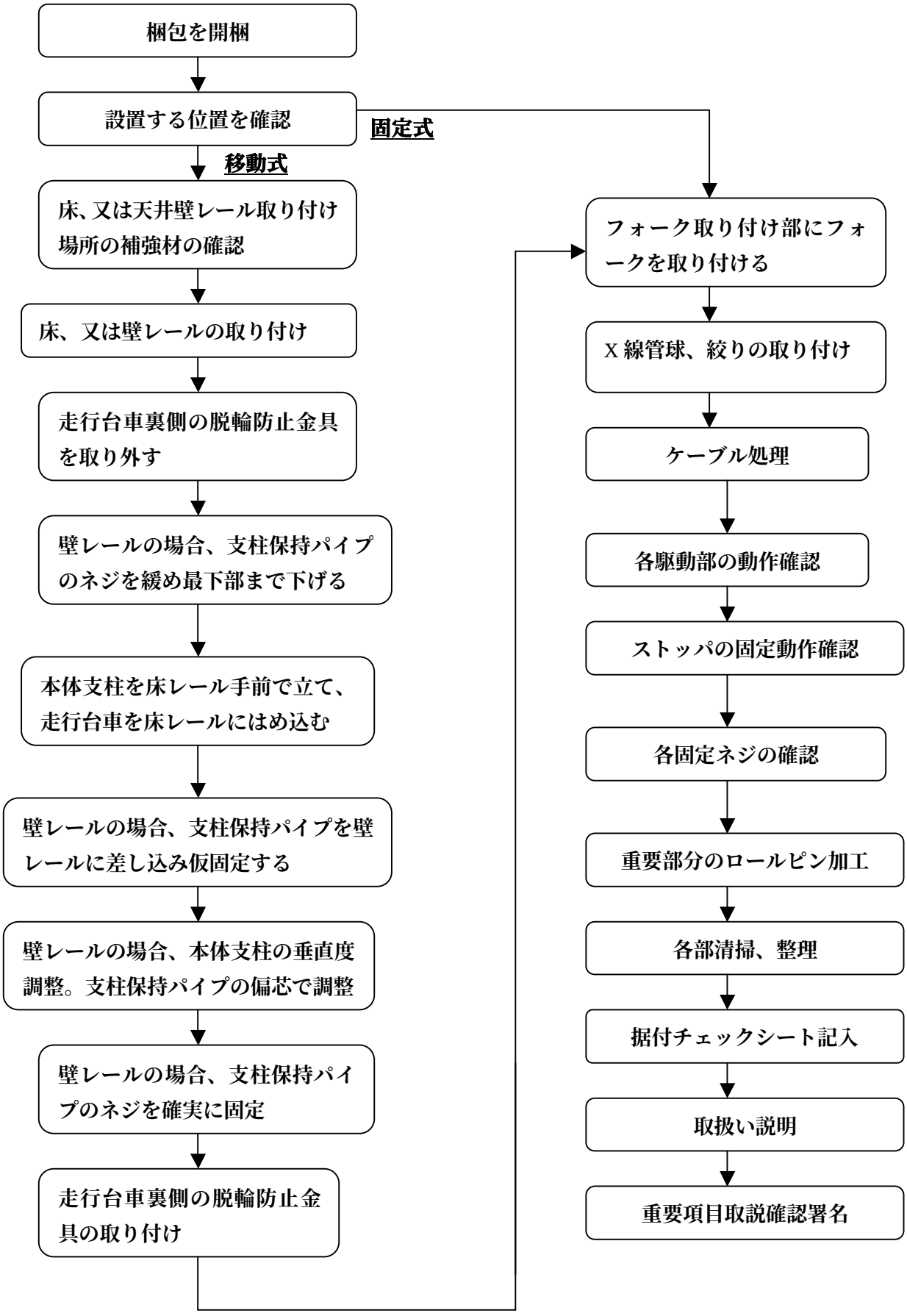
２－４－１使用環境条件

（１）温度	１０～４０°C
（２）湿度	３０～８５%（結露しないこと）
（３）気圧	７００～１０６０ｈｐａ
（４）その他	爆発性及び腐食性ガス環境での使用は避けて下さい。

２－４－２保管環境

（１）温度	－１０～６０°C
（２）湿度	３０～９０%（結露しないこと）
（３）気圧	７００～１０６０ｈｐａ

２－５．据付フロー図


梱包を開梱
設置する位置を確認
固定式
移動式
床、又は天井壁レール取り付け場所の補強材の確認
床、又は壁レールの取り付け
走行台車裏側の脱輪防止金具を取り外す
壁レールの場合、支柱保持パイプのネジを緩め最下部まで下げる
本体支柱を床レール手前で立て、走行台車を床レールにはめ込む
壁レールの場合、支柱保持パイプを壁レールに差し込み仮固定する
壁レールの場合、本体支柱の垂直度調整。支柱保持パイプの偏芯で調整
壁レールの場合、支柱保持パイプのネジを確実に固定
走行台車裏側の脱輪防止金具の取り付け
フォーク取り付け部にフォークを取り付ける
X 線管球、絞りの取り付け
ケーブル処理
各駆動部の動作確認
ストッパの固定動作確認
各固定ネジの確認
重要部分のロールピン加工
各部清掃、整理
据付チェックシート記入
取扱い説明
重要項目取説確認署名

据付手順

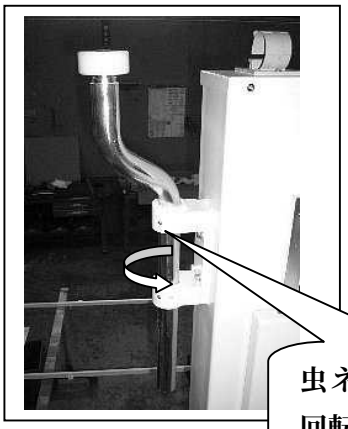
１．梱包を開梱
２．床又は壁レール取り付け場所の補強材の確認
３．設置する位置を確認
４．床をアンカーボルトで固定し、本体支柱の垂直度調整。
移動式の場合、
４A 床、壁レールの取り付け
４B 走行台車裏側の脱輪防止金具を取り外す
4C 支柱保持パイプのネジを緩め最下部まで下げる
4D 本体支柱を床レール手前で立て、走行台車を床レールにはめ込む
4E 本体支柱の垂直度調整。支柱保持パイプの偏芯で前後調整。床レールをスペーサで左右調整。
４F 支柱保持パイプのネジを確実に固定
4G 走行台車裏側の脱輪防止金具の取り付け
4H ストッパの固定動作確認

5. フォーク取り付け部にフォークを取り付ける
6. X 線管球、絞りの取り付け
7. ケーブル処理
8. 各駆動部の動作確認
９．各固定ネジの確認
10. 重要部分のロールピン加工
11. 各部清掃、整理
12. 据付チェックシート記入
13. 取扱い説明
14. 重要項目取説確認署名

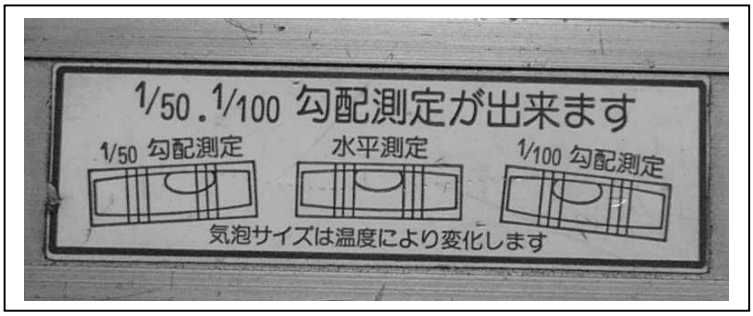
調整・試験

１．本体支柱垂直度調整

水準器で支柱前後左右の垂直度を１／２００以下になる様に床ベースをスペーサで調整する。
移前後は床レールをスペーサで調整する。壁レールの場合は支柱保持パイプを偏芯させ調整する。
一目盛が１／１００なので、気泡の左右差が１／２目盛以下に調整する。

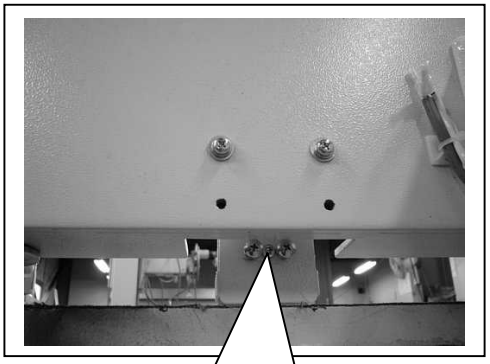


虫ネジ２本を緩めて
回転さす



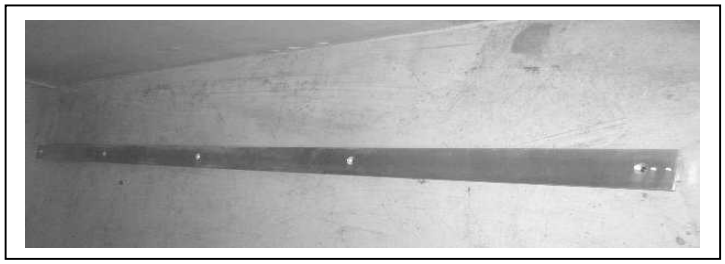
２．　電磁ロックの場合

床上走行の場合、電磁ロックＯＦＦ用の
ネジ（真中の５mmＣＡＰボルト）を緩めて
左右動のロックが効く様にする。

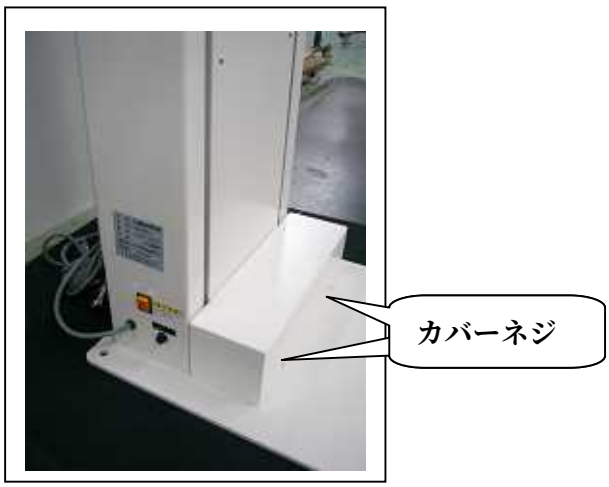


電磁ロックＯＦＦ用ネジ

床レール↓　　壁レール↑

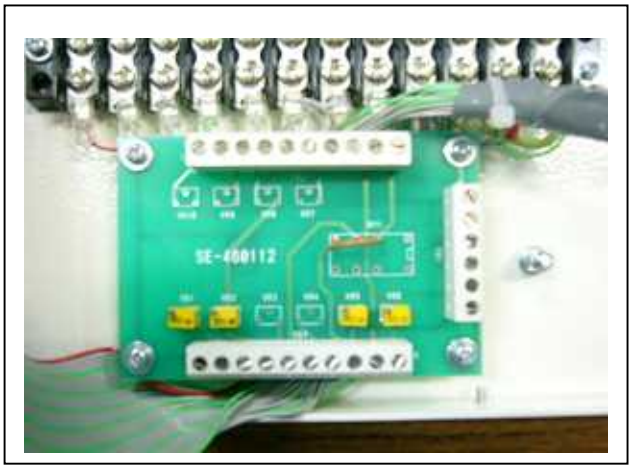


１．制御ユニットのカバーネジ２本を外してカバーを上に持ち上げる



２．高さ合わせ表示
ＡＤ－４０上側のボタンを押すと
ＫＶ－１０００の表示がＡ／Ｄデータ表示になる。
次に（Ｍ）のボタンを押して（↑）（↓）でＣＨ０
を選び（エンター）を押して、次に（↓）を押して
特殊データにすると撮影台の高さ表示になる。

３．次に撮影台を一番上に上げて床面からの高さを
測り、同じデータに成るようにＶＲ１で調整する。
４．次に撮影台を一番下に下げて床面からの高さを
測り、同じデータに成るようにＶＲ２で調整する。
５．３．と４．の調整を繰り返す。
６．多重絞りでセンターを確認する。わずかに合わない場合は、VR１、２で差分を調整する
７．X 管支持器の設定は出荷時調整ずみですが
調整する場合は１．の方法でＣＨ３の特殊データで
ＶＲ５とＶＲ６にて調整します。

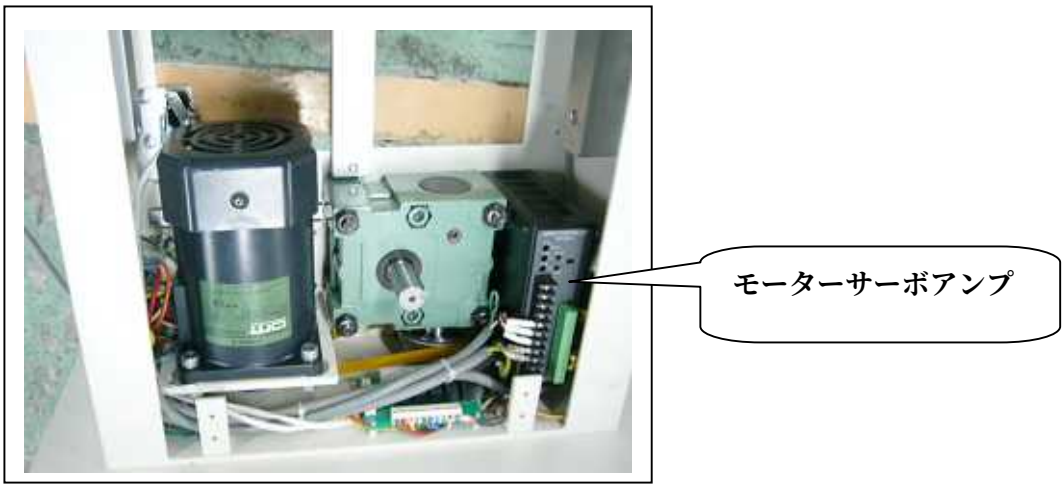


５．モーターサーボアンプの調整

６．１制御ユニットの固定ネジ２本を外して手前に移動する。

６．２　前カバーの下側を外す。

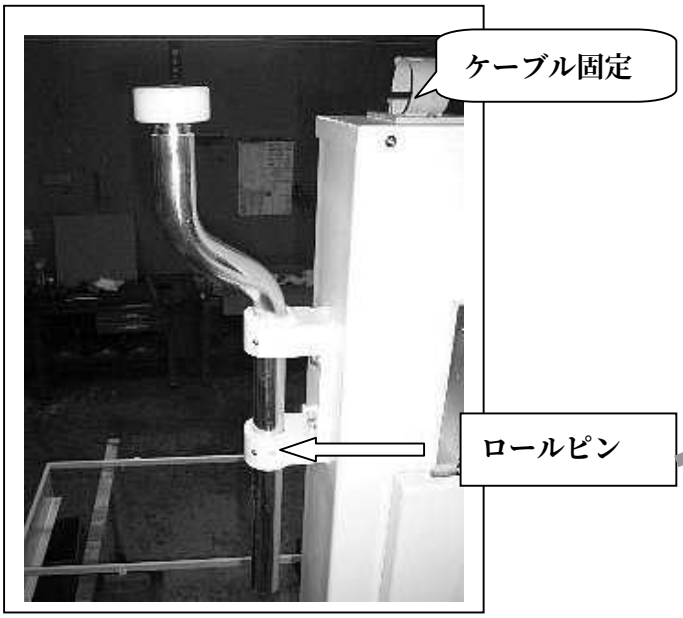
６．３　２本のカバーフレームが干渉して作業できない場合は支柱上カバーを外して前カバー上部も外して、フレームを外す。



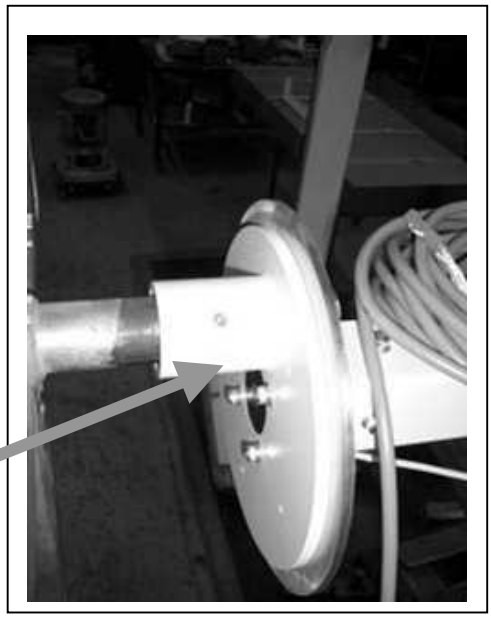
６．４　調整はサーボアンプのマニュアル参照

重要部分

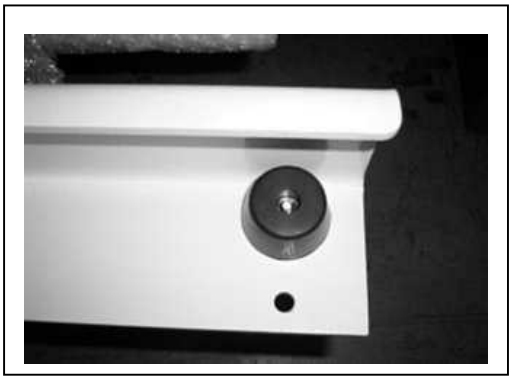
支柱保持パイプフランジ部にロールピンを打ち込む



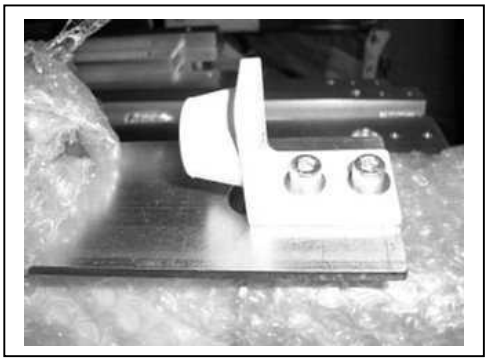
フォーク取付部分にロールピンを打ち込む



壁・天井レールゴム当りの取付

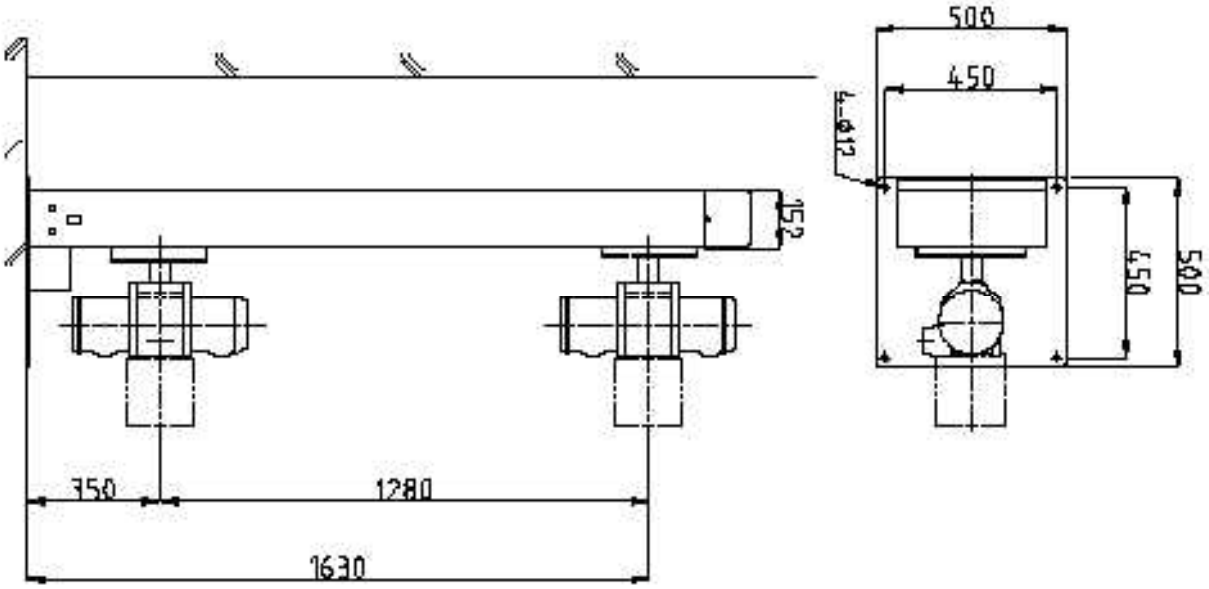


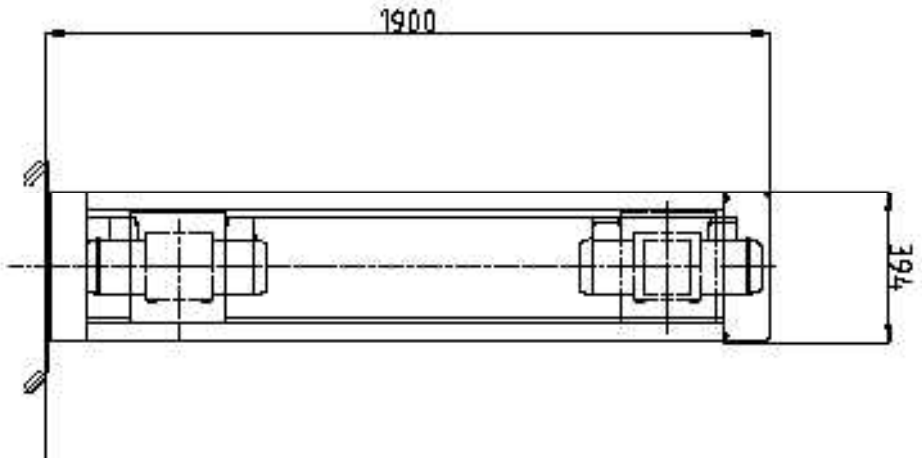
床レール当り金具の取付



脱輪防止金具の取り付け

２．外形図





SA-WA 据付品質チェックシート

設置先名		据付年月日	２０　／　／
設置先住所		設置担当者	

	製品名	製造NO
X線装置		
X 線管保持装置	ＳＡ－WA	
X線管		
多重絞り		
サポティングフォーク		

	内容	据付者の確認
1	床ﾍﾞｰｽ・壁又は床レールのアンカー止め	
2	本体支柱の垂直度　１／２００以下	
3	各移動部の動作確認	
4	各重要部分のロールピン打ち込み	

お客様確認欄

	取扱い説明書の確認	ページ
1	取扱い説明書　安全の項目	
2	取扱い説明書　保守点検項目	

説明を受けた年月日	説明を受けられた方の所属	お名前（署名）
２０　／　／		
２０　／　／		
２０　／　／		